

大網高等学校の皆さんへ

大網白里町市制施行名称検討委員会
大網白里町

市の名称に関するアンケート

大網白里町では、先の国勢調査で人口が5万人を超え、「町」から「市」になるための法律要件を達成することがほぼ確実にっております。

また、昨年7月に実施した住民アンケートにおいても、たくさんの方々から「市」への移行に賛同をいただいたことから、平成25年1月の市制施行を目指し準備を進めています。

現在、大網白里町市制施行名称検討委員会を設置し、“市の名称”について協議しているところですが、次世代を担う皆さんの考えをお聞きしたいため、町内の小・中学校に通う小学6年生・中学生、そして、貴校の生徒を対象にアンケートを行うこととしました。

皆さんから寄せられた意見を参考にしながら、市の名称を決定していきますので、協力してください。

■あなたのことをお聞きます。

問1 あなたの学年は、次の中のどれですか？（1つ選んで番号に○）

- 1 高校1年 2 高校2年 3 高校3年

問2 あなたの住んでいるところは、どこですか？（1つ選んで番号に○）

- 1 町内在住
2 町外在住（ 市・町・村）

■市の名前についてお聞きます。

問3 あなたは、“市”になった時の名前として、ふさわしいと思うものを一つだけ記入してください。

（ふりがな ）

市

【理由を記入してください】

「大網白里町」誕生の背景小史

平成 23 年 12 月 27 日に開催された「第 1 回大網白里町市制施行名称検討委員会」において、大網白里町郷土史研究会会長から、「大網白里町誕生の背景小史」が配布されましたので、アンケートを回答するにあたり参考資料としてください。

【 歴 史 】

〈大 網〉

- ・大網村＝江戸期から明治 22 年の村名。

旧来、山辺荘大網郷と呼称されていたが、明治 2(1869)年米津正敏が出羽国長瀬藩より 1 万 1,000 石で上総国大網に移り立藩した。米津氏は三河以来の徳川氏譜代の家臣で、小太夫政信の四男 田政(たまさ)から出た。寛政 10(1798)年、通政のとき武蔵国の領地 6,400 石余を出羽国村山郡内に移され、長瀬に居所を営み、通政、政懿(まさよし)、政易(まさやす)、政明、政敏と五代にわたり在藩したが、明治 2 年上総国大網に移り陣屋をおいた。しかし、明治 4 年 2 月政敏のとき、大網村など三カ村の代地が常陸国河内郡に与えられ、再び常陸国竜ヶ崎藩に転封され、大網藩は廃藩となった。

大網は、明治 2(1869)年頃から大網宿ともいわれ、宮谷県(明治 2 年 2 月～4 年 11 月)が本国寺に仮庁舎(千葉県誕生は明治 6 年)として設置された。大網の町名は大網宿が当地区中の大集落であって近隣にも知られていたことに由来する。

- ・明治 22(1889)年大網町(～昭和 29 年 12 月)の大字となる。
- ・明治 24(1891)年の戸数は 510、人口 2,733 人…(資料により多少の差があり)
- ・明治 29(1896)年に大網～蘇我間開通(外房線)
- ・明治 33(1900)年に大網～東金間開通
- ・昭和 26(1951)年 大網町は瑞穂村・山辺村、28 年に大和村を合併

〈白 里〉

- ・白里村は、今泉村(南北今泉)、細草村、四天木村の三カ村が明治 22 年 4 月に連合して成立した村である。
- ・当初は山邊郡に属し、明治 30(1897)年からは郡編成により山武郡に所属。四天木・細草・南今泉・北今泉の四カ村と大沼田村飛地等が合併して成立。旧村名を継承した 4 大字を編成。役場を南今泉に設置。

白里の名称：当浦が九十九里浜〔百里浦(くじゅうくりうら)〕の中央部にあり、漢字「百」から一を引くと「白」という字になる。白里(しらさと)村の発足当時からこの浜が白里浦(くじゅうくりうら)と呼ばれていたことから、**白里の地名**としたと伝えられている。

因みに安政年間(1854～59)、五所神社(旧蓮沼村)に奉納された絵馬の作者に「白里漁人」とある。また雅号を「白里」とするなどの例も散見されるところから、白里という文字の響き

はよく、広く人々に親しまれ使われていたものと思われる。

九十九里の名称：九十九里浜、九十九里浦、矢指ヶ浦、黒戸の浜、総の長浜、玉浦等々在り。

源頼朝の矢立伝説＝石橋山（小田原付近）の合戦(1180)に敗れ、房総半島に逃れた頼朝は再起のため兵を集めていたときこの浜に立った。平坦で長大な浦を見て、土地の者に命じて一里ごとに矢を立てさせたところ丁度九十九本立ったことから九十九里浜と呼ぶようになったという伝説がある。

- ・明治 24(1909)年の戸数は 1,077 戸、人口 6,279 人
- ・昭和 10(1935)年 8 月 10 日、町制を施行し**白里町**となる。

〈増 穂〉

- ・増穂村：明治 22 年 4 月に柳橋、木崎、北飯塚、南飯塚、星谷、南横川、富田、北横川、柿餅、上貝塚、清名幸谷、上谷新田の 12 か村と、他の飛地が合併して成立した村である。
- ・明治 24 年の戸数は 550 戸、人口 3,093 人

【大網白里町の誕生〔昭和 29(1954)年 12 月 1 日〕】

大網白里町合併時における旧町村の人口・戸数

(『千葉県町村合併史』下巻)

町 村 名	人 口			戸 数
	男	女	計	
大 網 町	5, 3 4 8 人	5, 6 9 1 人	1 1, 0 3 9 人	2, 0 3 5 戸
増 穂 村	1, 8 8 6	2, 0 6 1	3, 9 4 7	6 6 8
白 里 町	5, 1 3 2	5, 6 1 3	1 0, 7 4 5	1, 8 6 4
計	1 2, 3 6 6	1 3, 3 6 5	2 5, 7 3 1	4, 5 6 7

※平成 23 年 11 月 1 日現在 人口 50,740 人（男 25,130 人、女 25,610 人） 世帯数 19,819

新町の名称：新町の名称については、慎重な審議が遂げられたが、「大網」は古来、大網宿として知られ歴史的に有名であるばかりでなく、交通の要衝として県内外に周知されている地名であり、一方白里町は九十九里沿岸漁業上重要な地名であり、且つ避暑地としても有名であるので容易に結論が得られず、その決定を知事に一任した結果、両町名を活かした「大網白里町」の案が示され、そのとおり決定した。（『大網白里町史』P1131 より）

参考資料 【町村合併の歴史的背景】

- ・明治政府＝明治 4(1871)年「廃藩置県」、明治 23 年「府県制」「郡制」の公布
- ・明治 21(1888)年に公布された地方制度「市制町村制」実施によるものである。この結果、旧来の 5, 6 か町村を統合した新町村が成立し、全国の町村数は 70,435 から 13,347 へと激減し、千葉県の町村数も 2,457 町村が 358 町村になった。